

Syllabus ID	syl-102570
Subject ID	sub-102403801
更新履歴	20120329 新規
授業科目名	工業英語 I English for Engineers I
担当教員名	宮下 真信
対象クラス	制御情報工学科 4年生
単位数	1学修単位
必修／選択	必修
開講時期	後期
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	S4 HR

#### 授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

現代の技術者にとって英文の技術文書の読み書きは必須となっている。ここでは、学術論文の構成について解説し、タイトルの付け方、英語の表現について講義をおこなう。また、英語でのプレゼンテーション法についても講義する。

#### 準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

中学、高校レベルの英文法の知識。

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成

  

学習・教育目標の達成度検査	1.該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験をもって行う。 2.プログラム教科の修得と、目標達成度試験の合格をもって当該する学習・教育目標の達成とする。 3.目標達成度試験の実施要領は別に定める。
---------------	--

#### 授業目標

1. 技術英文読解に必要な数量表現、状態表現、比較表現などの習得。
2. 工業英語4級程度の基礎的な英語表現の習得。
3. 英文 abstract が書けること、英文でのプレゼンテーション方法の習得。

#### 授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション		
第2回			
第3回			
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回	前期中間試験		×
第9回	科学技術英語の表現Ⅰ		
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
第16回			

第 17 回	前期末試験		×
第 18 回	後期オフィンテーション	授業の目的、進め方、自習への助言、評価方法 科学技術英語は、何が違うのか	
第 19 回	学術論文の形式	学術論文の構成	
第 20 回	学術論文の読み方	学術論文を実際に読んでみる	
第 21 回	英文タイトル I	キャッチ - なタイトルの付け方	
第 22 回	英文タイトル II	タイトルの言い回し I	
第 23 回	英文タイトル III	タイトルの言い回し II	
第 24 回	英文タイトル IV	タイトルの言い回し III	
第 25 回	後期中間試験		×
第 26 回	科学技術英語の表現 I	名前、複合語、数え方	
第 27 回	科学技術英語の表現 II	基数詞／助数詞・倍数詞など	
第 28 回	科学技術英語の表現 III	単位と数式／動詞中心の英語表現	
第 29 回	科学技術英語の表現 IV	物の名前と数字／動詞中心の英語表現、形／状態	
第 30 回	科学技術英語の表現 V	接続詞、関連的説明・付加的説明の表現	
第 31 回	科学技術英語の表現 VI	尺度と基準、受動態、仮定法、目的や理由の表現方法	
第 32 回	英語論文の書き方	abstract の書き方、科学技術英文を書くときのポイント、格調高い英語表現（分詞構文など）	
第 33 回	プレゼンテーション	英語によるプレゼンテーションをおこなう	
第 34 回	学年末試験		×

### 課題

課題で与えた工業製品に関する、リーフレットを作成する。

### 評価方法と基準

#### 評価方法

授業目標 1,2 については、授業内で実施する到達度テストならびに定期試験の成績で判断する。3 の項目については、最終講義でのプレゼンテーションで評価する。

#### 評価基準

中間期末試験 60%、授業時間内に実施する理解度テスト 20%、英語プレゼンテーション 20 %  
著しく授業態度が悪いと判断された場合は 20% の範囲で減点する。

教科書等	工業英語ファーストステップ 講義資料（各自ダウンロードして講義に出席のこと）
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE 、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教員へ連絡してください。